

令和2年度 精神保健福祉部会コア会議 記録

令和2年6月19日（金）

10:00～11:00

リハセンター2F 第一会議室

出席者：障害者地域生活支援センターほっと、高松市障害福祉課、香川県障害福祉課、大西病院、高松市障がい者基幹相談支援センター、三光病院

1. 部会の持ち方について

・今後の方向性

少人数、短時間（一時間）という枠の中で10人以下の人数で、コア会議とWGの活動を隔月で交互に行っていく。

WGでの活動をコア会議で報告、必要に応じて検討（コア会議：偶数月、WG：奇数月）

今後のコロナの第2波の事も考え、夏の動きやすい時期に検討を進める。

WGに分かれ、メールを活用できる部分はしていく。

7月中に各コア会議第一回を開催してください。

・WGについて

①高齢者分野との連携

②ピアサポーター

③医療と福祉の連携 7月17日（金）10時～11時 リハセン第一研修室にて開催

2. 令和2年度運営方針について

①精神科病院への訪問面接、病院内プログラムの実施

訪問面接はストップしている状態。病院内で取り組める活動について検討中。

訪問面接の残っている方については、対象者を絞り短時間で実施ができないか院内で協議をしていく。

○今後の方向性

状況が変わったときや、動きがあった方、時期やタイミングを見ながらコア会議で共有し、動きが活発になった場合はWGを作り話し合っていく。

②ピアサポート活動に関して

パンフレットに関する意見の集約をピアサポーターの方に向けて行った。

今後は、パンフレットの作成と新規のピアサポーターが参加できる会の設定をしていく。

③スーパーバイザー・ピアサポートの派遣について

高松圏域自立支援協議会のホームページに改訂したパンフレット、申込書を改めてアップしたと同時に香川県内、市内の事業所等にメールで周知を行った。ピアサポーターのパンフレットが出来上がった段階で第2弾として各事業所に改めて発送を行う予定。

9 月末までにパンフレットの作成が間に合わない場合は再度今回と同じものを送付します。コロナの感染防止策を講じた派遣を検討していますので周知をお願いしたい。

④高齢者分野との連携について

高齢精神障害者の退院支援のパターンを整理して、フロー図にまとめていく作業を行い、まずは精神保健福祉分野の担当で作成し、高齢者福祉分野の支援者とすり合わせて完成させていき、その後周知を行っていく。

⑤大川圏域、高松圏域の連携について

現在コロナの影響で準備会の開催ができていない状況。必要に応じて精神保健福祉部会と連携をしていく。東讃保健所担当者に部会に参加していただく。

⑥医療と福祉等他分野との連携について

研修の企画がコロナの影響もあり厳しい状況。

リモートを活用する等顔の見える関係ができるような企画を検討していく。

次回コア会議：8月28日（金）10：00～11：00

かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター2階第一研修室